

2025 福島連帯キャラバン報告書

東北地方秋田支部 上野翔央

今回の福島連帯キャラバンを通じて福島第一原発事故を風化させてはならないと改めて思うことができました。

私の住んでいた場所の秋田は幸いにも津波や放射能の問題は無く、地震の影響でインフラが若干止まる程度でした。ただ今回のフィールドワークで訪問した請戸小学校で津波の恐ろしさを知り原告団の家を見学して14年たった今でも復興は進んでいないということを目で見て、話をきいて、肌で感じることができました。

福島駅前での街宣活動は自分の思いを話せる貴重な体験ができました。同じく福島駅前での署名活動もいい経験になりました。原発事故の当事者である福島県での署名活動は沢山の署名が集まると思いましたが、しかし予想とは違いなかなか集まりませんでした。地元福島でも確実に原発事故の気持ちが薄れていると感じました。県民集会の中でも高校生大使が風化してきていると話していたので来年以降もキャラバン隊で訴えてなければならないと強く思いました。

核と共存できないのは明らかです。このような活動を続けていき少しずつ核なき社会の実現を目指したいです。